

# INTEGRA Celine™

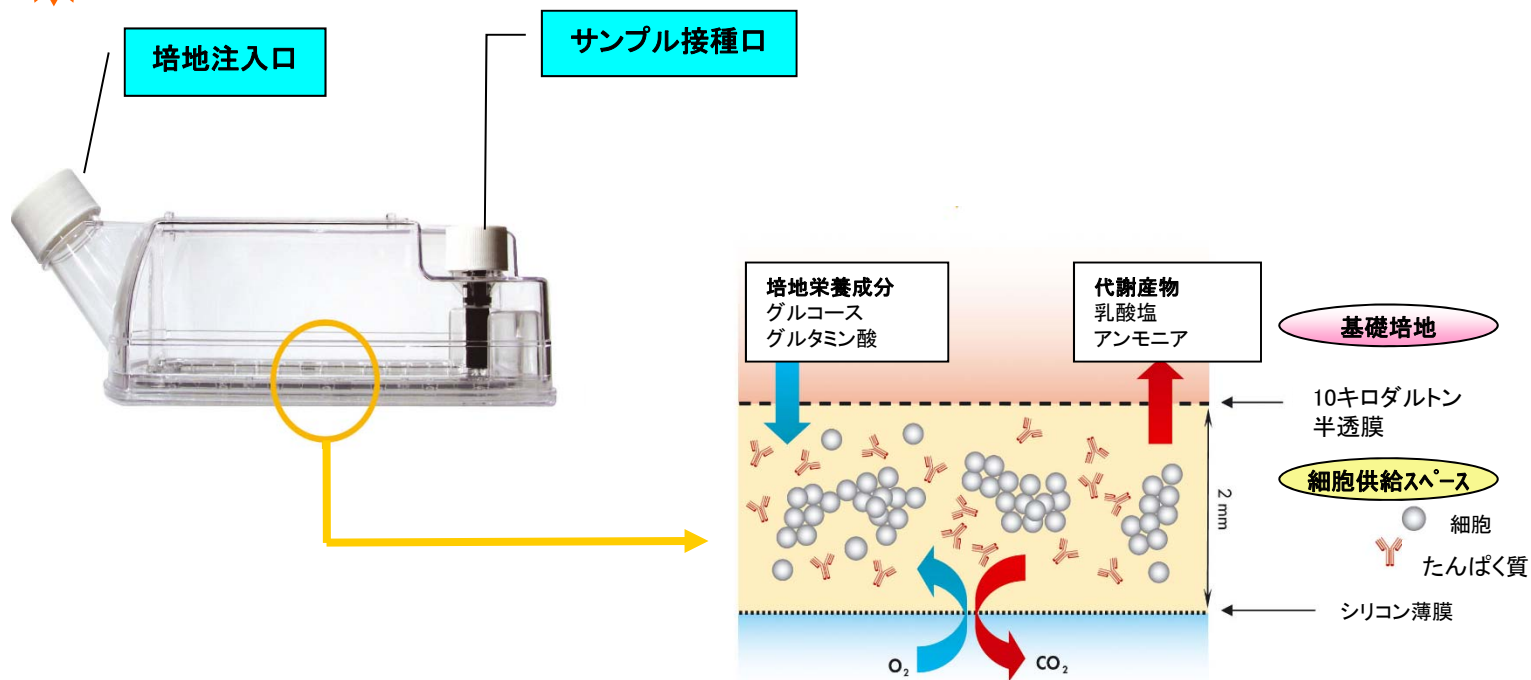
セルラインは高密度で細胞を培養することが可能な特殊フラスコです。2つのコンパートメントからなり、高グルコースにした無血清培地を入れる栄養培地スペースと、細胞(必要であれば血清培地)を入れる培養スペースがあります。2つのコンパートメントは半透膜のセラハン(分子量:1万ダルトン)で仕切られております。細胞が必要とするグルコース等の栄養分は半透膜を通して培養スペースに入ります。細胞が排出する老廃物も半透膜を通して栄養培地スペースに入ります。培養スペースの下部はシリコンのメンブランになっており、CO<sub>2</sub>の交換に適した形状になっています。セルラインには浮遊系の細胞培養に適した、培養スペース5mlのCL350と15mlのCL1000のほかに、付着系の細胞培養に適した培養スペース15mlのAD-1000がございます。



## ラインナップ

品名	セルラインCL- 350	セルラインCL-1000	セルラインAD-1000
			
品番	CL0101	CL0100	CL0104
外形寸法 W×D×H (mm)	95×190×62	120×275×80	
重量 (g)	185	334	336
培地チャンバー容量 (ml)	50～350	100～1000	
培養チャンバー容量 (ml)	5～15	15～25	
培養対象	浮遊細胞(少量)	浮遊細胞	付着細胞
培地注入口キャップ	28mm径 緑キャップ 0.2 μmフィルター	38mm径 白キャップ 0.2 μmフィルター	38mm径 黒キャップ 0.2 μmフィルター
サンプル接種口キャップ	24mm径 白キャップ	28mm径 白キャップ	
滅菌	γ線滅菌		
定価(税別)	OPEN	OPEN	OPEN

# 1 取り扱いが簡単！高密度の細胞を効率的に培養！



## \* 取り扱い方法

1. 培地(血清なし)を培地注入口から入れ、その後血清入りサンプルをサンプル接種口から接種し培養を行います。この時、ピペット等をサンプル接種部に挿入し、細胞培養チャンバー層に入っている空気を取り除く。
2. 培養が終了した後、サンプルは全量回収し半分を実験に残り半分には培地を加えて改めて培養することが出来ます。

- ・血清不含有の培地を使用することにより、非常に経済的です。
- ・培養後、半量を実験、半量を再び培養することで、通常のT型フラスコと比較しランニングコストが約半分に削減できます。(セルラインCL-1000と一般的な225ml T型フラスコとの比較データ)

# 2 ラインナップは3種類！用途に合わせてサイズ・種類を選択！

浮遊細胞培養用は、培養チャンバー容量が350mlのCL-350と、容量1000mlのCL-1000の2種類をご用意しております。HEK、BHK、CHO等の付着細胞培養には容量1000mlのAD-1000をご用意し、お客様の様々なニーズにお応えいたします。AD-1000の培養チャンバー内には不織布が配されており、細胞が理想的な状態で付着し増殖します。

# 3 人間工学に基づく形状で、操作性を徹底追求！

従来のT型フラスコと変わらない形状に設計されているので、そのままの操作性で使うことが出来ます。培地分注口キャップはラインナップごとに異なりますので、タイプを間違えて使用する心配もありません。また、培養時は本体の上下配されたリムにより、インキュベーター内で積み上げても安定しバランスを崩しません。製品はすべて個別包装され、 $\gamma$ 線滅菌で無菌状態でおお客様の元へ発送いたします。



# 4 ラット/マウスの使用数を減少できます。

セルラインは、抗体生産におけるコストと性能で、研究用ラットやマウスの腹水を使用する方法に代わりうる細胞培養器です。更に、セルラインを使用する事で調製された抗体は、ラットやマウスからの免疫グロブリン汚染の心配がありません。近年、セルラインはモノクローナル抗体の生産の為に、全世界で採用され研究用ラットやマウスの減少に大きく貢献しています。

